

縮まないボックス型〈ハイブリッドシート〉 導入先の各病院～「軽い」「作業がラク」と高い評価

前号に掲載した株式会社セス（東京都千代田区、大野芳一代表取締役社長）のボックス型「ハイブリッドシート」（特許申請中）が、各地で採用が増えている。

ロールラインで大量処理が可能

ボックス型シートは、縮みを考慮して長めに裁断するとシートが踊って着用感を阻害するし、逆にジャストサイズでは縮んで入らなくなってしまうという課題があったが、セスでは、ニーズが高まるボックス型シートにおいて、2年の歳月をかけて縮まないシートを開発した。

このシートは、速乾性と洗濯耐久性にすぐれ、リネンサプライ工場での洗濯を繰り返しても収縮せず、着用不能が生じない画期的なシートだという。身生地はポリエステル 30%・綿 70%、ニット部はポリエステル 100%。ウレタン繊維（弾性繊維）を全く使用せず、編み技術のみで形成されている。

同社の収縮試験結果によると、商業洗濯の条件よりもアルカリ性の強い苛性ソーダで 80℃・50 回の洗濯及び乾燥を繰り返しても、収縮率は 4% 以下で推移。さらに、100 回、150 回の洗濯にも耐えられる性能を誇る。

また、通常のロールラインでの処理が可能で、とくに投入工程においても、クリップから外れたりせずに自然な投入ができ、完全自動たみが可能。

病院ではシート交換の労力が半減

関西の A 国立病院では、昨年 4 月より 400 床全てにおいてハイブリッドシートを採用。担当看護師は「こ




▲2人で作業していたシート交換が1人で、しかも速くなったと好評。▶角にもぴったりとフィットしている

のシートは瞬時にリネン交換が済むので大変助かっています。従来の平シートでは患者様の動きによってシワが寄っていましたが、今ではシワも気になりません。しかも、大変軽いので持ち運びが楽で、厚さも半分位なので在庫も多く置けるようになりました」と評価する。

同じくハイブリッドシートを使用する B 総合病院の担当看護助手は「今までのシートと比べてリネン交換に掛かる時間が 5 分の 1 くらいになった。従来のシートでは 2 人でシートの角を折り込んでセットしていましたが、ハイブリッドシートは 1 人でしかも簡単にセット出来るようになりました。またシート 1 枚あたりの重量（約 500 g）も今までの平シート（約 800 g）と比べて大変軽くなっており労力が半減しています」と語る。

なお、ハイブリッドシートは、マットレス 85cm×200cm、90cm×200cm の両方に対応し、一般敷布団も OK。スタンダードタイプのほか、リバーシブル、角から水が抜ける穴あきタイプがある。

※製品の問い合わせは、TEL03・5296・2848 まで。



縮まない

ハイブリッドシート

特許申請中



- 収縮率 4% 以下を実現したボックス型シート
- シート投入機～ロール仕上げで大量生産
- 高耐久性 100 回～150 回洗濯も可能

株式会社セス

東京都千代田区神田駿河台 4-2-3
TEL03-5296-2848 FAX03-5296-2849

http://www.ces-net.co.jp
E-mail: ces@ces-net.co.jp